

2019年8月期 第2四半期 決算説明会

2019年4月25日

目次

会社概要	3
連結決算の概要	7
通期業績見通し	13
成長戦略	18
参考資料	31

会社概要

会社概要

社会インフラを支える水と空気のプロフェッショナル集団

社名

ポエック株式会社 Puequ Co., LTD.

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード：9264）

設立

1989年1月25日

本社

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町2-1-12

代表者

代表取締役社長 来山（きたやま）哲二

代表取締役副社長 采女（うねめ）信二郎

資本金

546,604千円（2019年2月現在）

従業員数

73名/連結184名（2018年8月現在）

事業所

仙台・北陸・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福山・松山・高松・福岡

連結子会社

株式会社三和テスコ（香川県高松市）

東洋精機産業株式会社（岡山県岡山市）

事業内容

「環境・エネルギー事業が売上の5割」を占める

環境・エネルギー事業

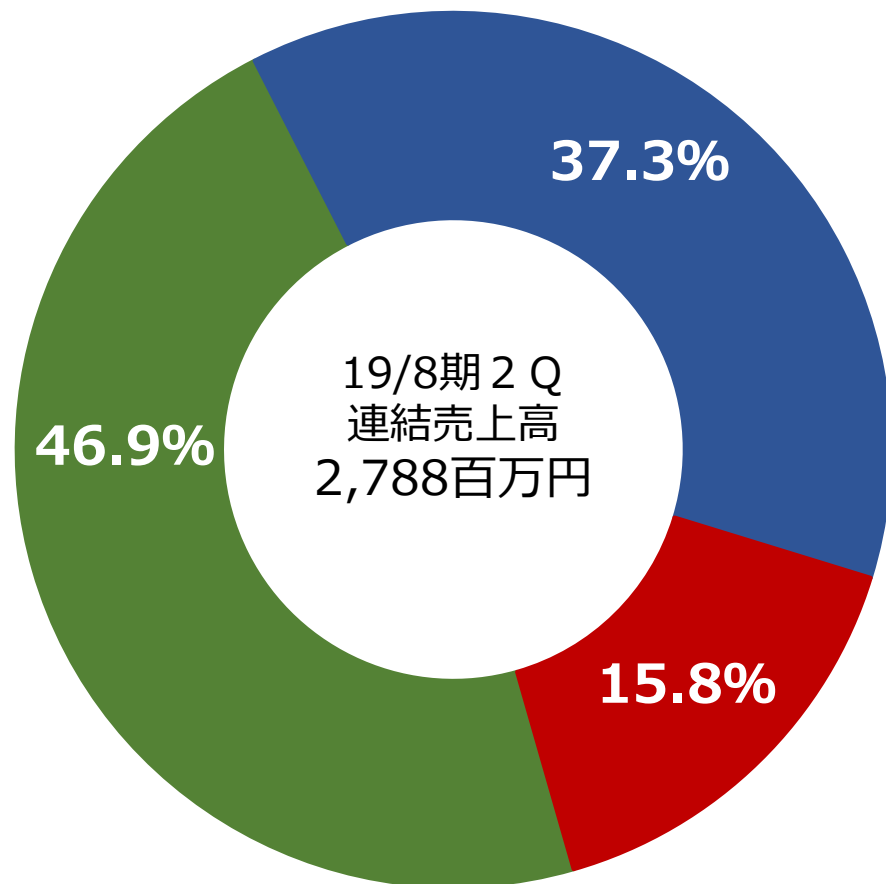
環境・水処理機器の販売
修理・メンテナンス



水中攪拌機



景観配慮型防潮壁
(SEAWALL)



電気不要の
スプリンクラー消火装置
「ナイアス」

動力・重機事業

プラント設備



ボイラー・圧力容器等

大型船舶エンジン台版



エンジン台版

機械加工部品



小型精密部品

防災・安全事業

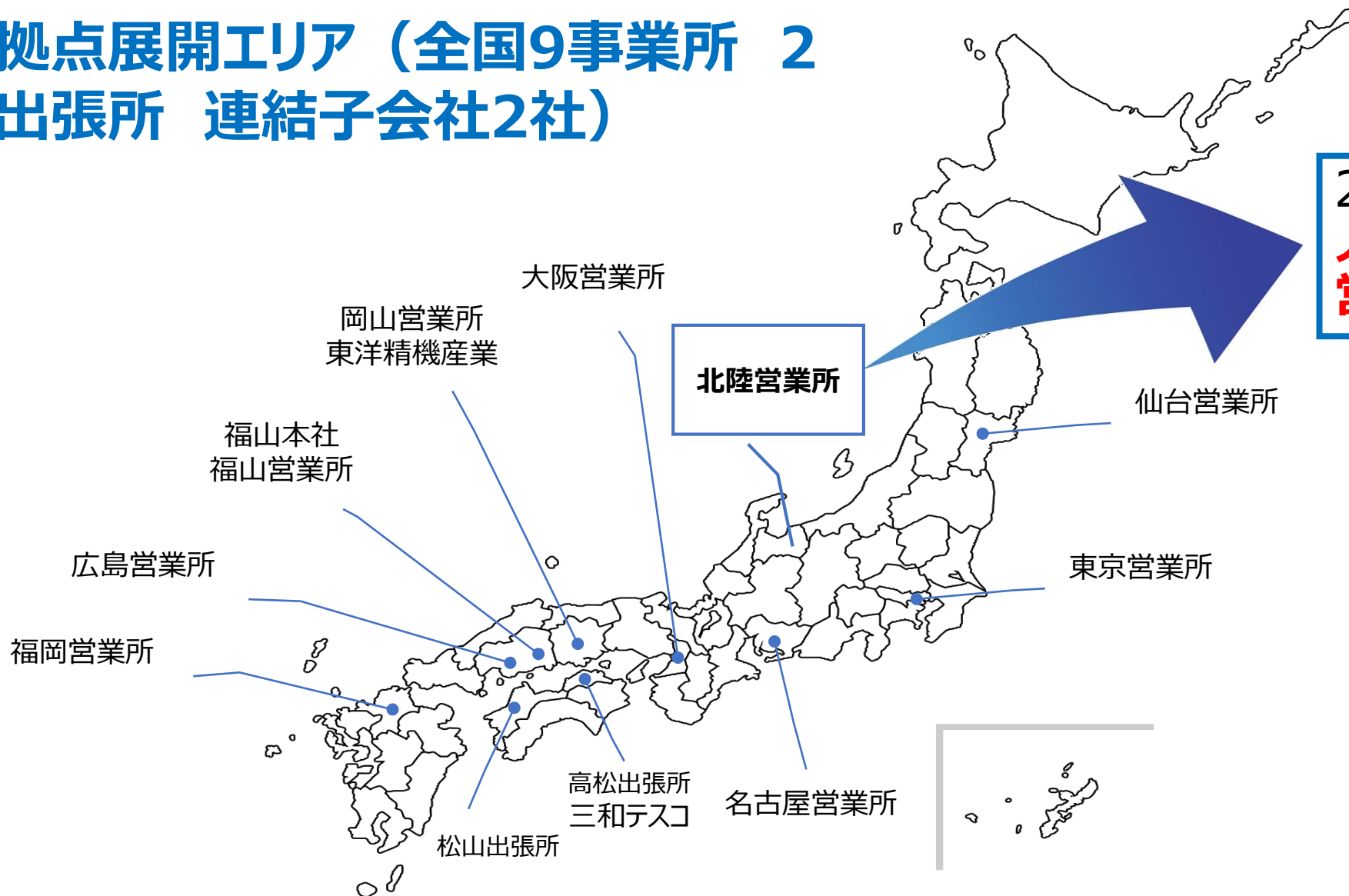
消防機器販売・設置工事



スプリンクラー

事業拠点概要

拠点展開エリア（全国9事業所 2 出張所 連結子会社2社）



2019年北陸出張所
人員体制を強化し
営業所へ昇格。

連結決算の概要

主要な経営指標等

	18/8期 2 Q 実績	18/8期 実績	19/8期 2 Q 実績
売上高 (千円)	2,721,030	5,730,807	2,788,187
経常利益又は経常損失 (千円)	52,201	159,641	72,934
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (千円)	44,126	128,740	48,459
純資産額 (千円)	1,128,674	1,271,994	1,424,427
総資産額 (千円)	7,517,937	7,273,676	7,655,984
1株当たり四半期 (当期) 純利益金額	28.31	76.02	25.66
自己資本比率 (%)	15.0	17.5	18.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△69,140	240,859	△232,980
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△115,206	△344,112	△50,258
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	209,523	△3,318	143,168
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高 (千円)	1,180,438	1,048,576	908,478

連結損益計算書 (P/L)

単位：千円

	18/8期 2 Q 実績	19/8期 2 Q 実績	前年同 四半期比 (%)
売上高	2,721,030	2,788,187	102.5
売上総利益	505,149	513,817	101.7
販売管理費	440,036	446,057	101.4
営業利益	65,113	67,760	104.1
経常利益又は経常損失	52,201	72,934	—
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	44,126	48,459	109.8

通期連結 業績予想	進捗率 (%)	前期通期連結 実績
5,782,000	48.2	5,730,807
—	—	1,095,766
—	—	898,361
281,000	24.1	197,404
264,000	27.6	159,641
170,000	28.5	128,740

連結貸借対照表 (B/S)

単位：千円

		18/8期 2 Q 実績	19/8期 2 Q 実績	前年同 四半期比 (%)
資産の部	流動資産	3,989,502	3,937,276	101.0
	固定資産	3,528,435	3,718,708	105.4
	うち有形固定資産	2,712,332	2,918,079	107.6
資産合計		7,517,937	7,655,984	101.8
負債の部	流動負債	3,125,814	3,594,648	115.0
	固定負債	3,263,449	2,636,909	80.8
	負債合計	6,389,263	6,231,557	97.5
純資産の部	資本金	429,058	546,604	127.4
	資本剰余金及び利益剰余金	740,981	897,716	121.2
	株主資本合計	1,170,040	1,444,322	123.4
	その他有価証券評価差額金	△41,366	△31,736	—
	純資産合計	1,128,674	1,424,427	126.2
負債純資産合計		7,517,937	7,655,984	101.8

セグメント別損益状況

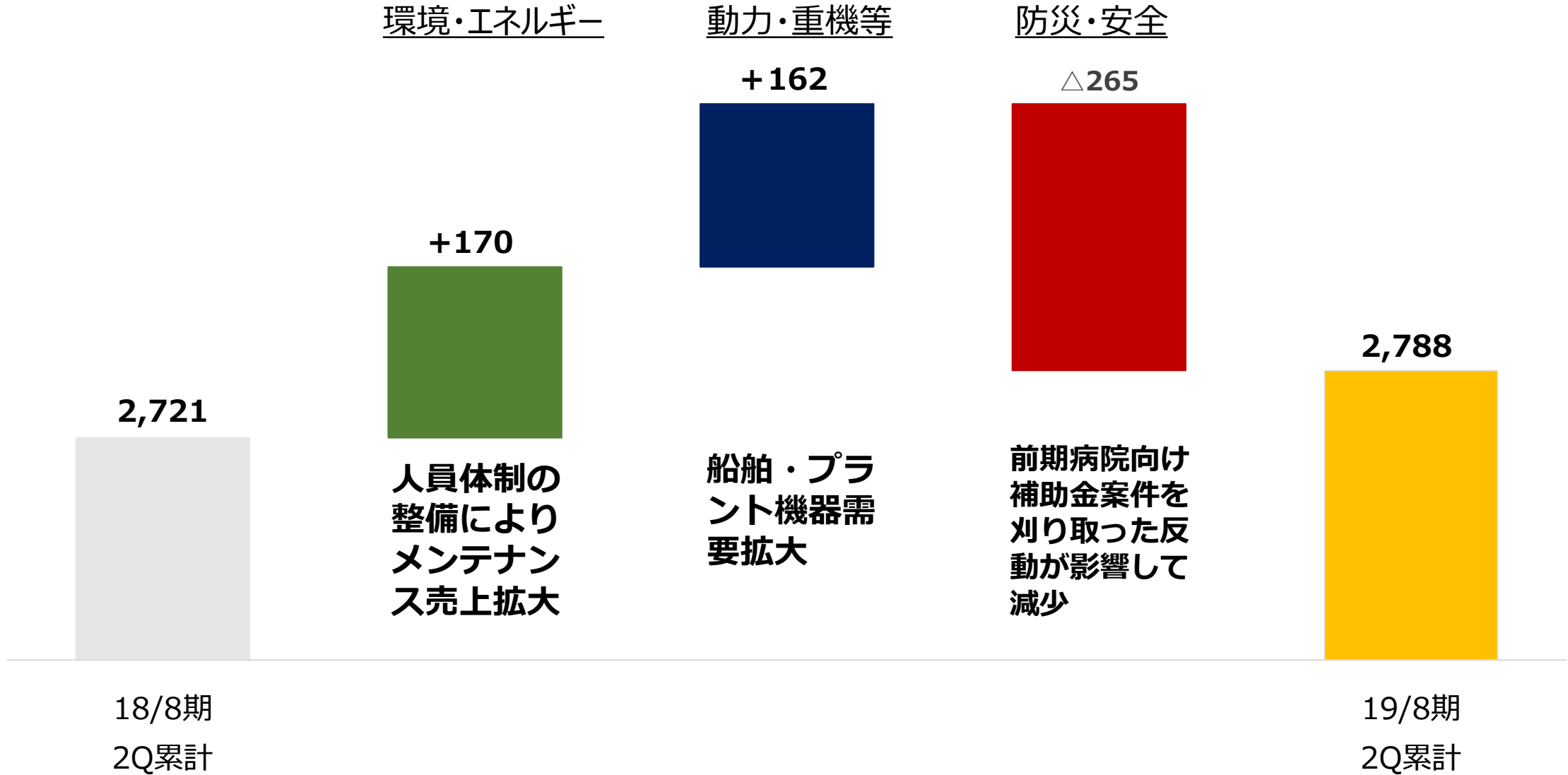
単位：千円

売上高	18/8期 2 Q 実績	18/8期 実績	19/8期 2 Q 実績	前年同 四半期比 (%)
環境・エネルギー事業	1,138,037	2,559,177	1,308,361	115.0
動力・重機等事業	876,797	2,016,098	1,039,124	118.5
防災・安全事業	706,196	1,155,531	440,700	62.4
合計	2,721,030	5,730,807	2,788,187	102.5

セグメント利益又は損失	18/8期 2 Q 実績	18/8期 実績	19/8期 2 Q 実績	前年同 四半期比 (%)
環境・エネルギー事業	47,637	117,974	39,248	82.4
動力・重機等事業	23,415	89,657	56,046	239.4
防災・安全事業	48,032	96,068	34,228	71.3
合計	119,085	303,700	129,523	108.8

売上高の増減要因

単位：百万円



通期業績見通し

2019年8月期通期連結業績予想

単位：千円

	19/8期2Q 実績	19/8期2Q 業績予想	19/8期 業績予想	進捗率 (%)
売上高	2,788,187	2,758,000	5,782,000	48.2
売上総利益	513,817	—	—	—
販売管理費	446,057	—	—	—
営業利益	67,760	53,000	281,000	24.1
経常利益又は経常損失	72,934	43,000	264,000	27.6
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	48,459	27,000	170,000	28.5

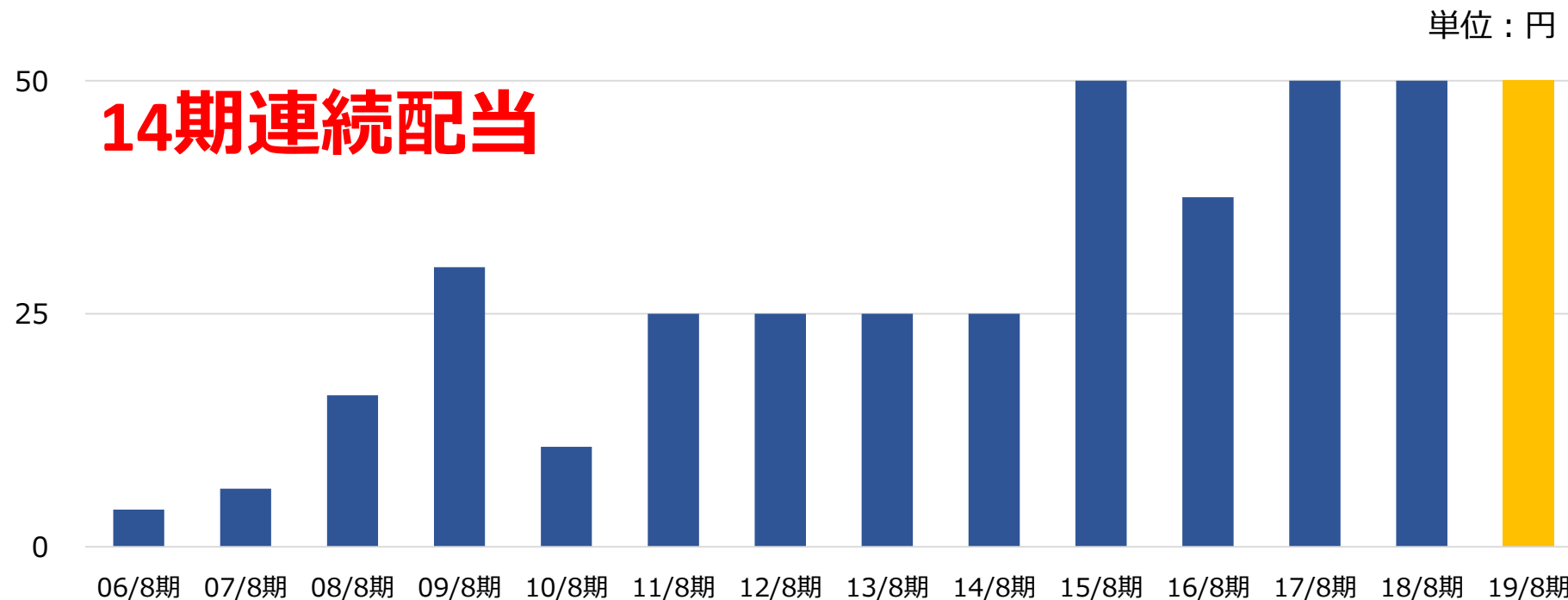
現時点において、当社グループの事業状況・見込に大きな変動はなく、2018年10月15日に公表した通期連結業績予想値に変更なし。

株主還元－配当

基本方針

- 将来の事業展開に必要な内部留保を見据えた株主還元
- 業績を考慮しながら安定配当を継続して実施
- 年1回の期末配当として剰余金の配当を行う

配当金推移



(注) 1. 当社は、2017年9月29日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、2006年の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

株主還元－株主優待

基本方針

- 当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図る事を目的として、株主優待制度を実施

概要

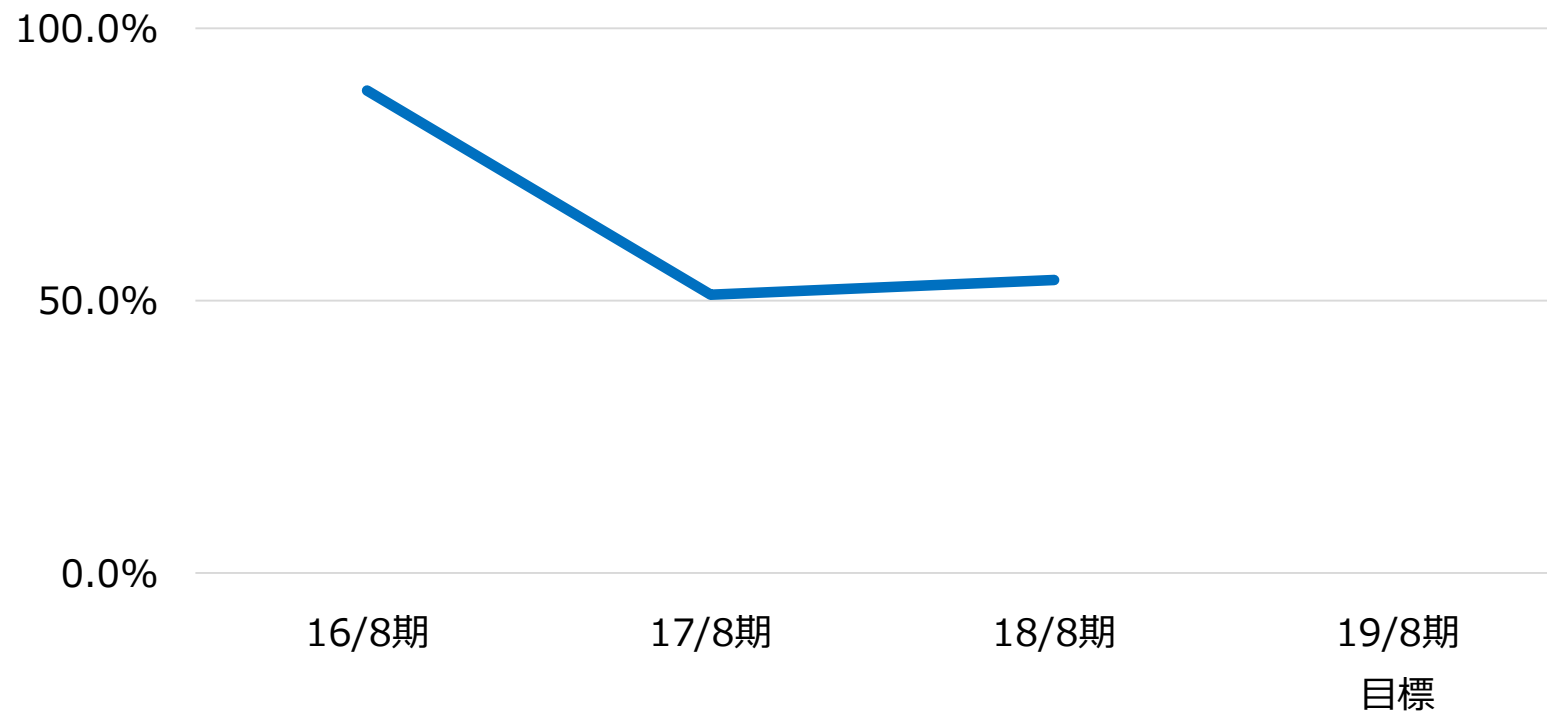
- 保有株式数に応じて優待ポイントを贈呈（200株以上）
- 食品・電化製品・旅行・雑貨等2,000点以上の商品と交換
- 当社株式を2年以上保有すると1.1倍のポイントを付与



株主還元

成長と株主還元を両立させる

	16/8期 実績	17/8期 実績	18/8期 実績	19/8期 目標
配当性向	88.6	51.1	53.8	50%以上



成長戦略

目指すべき姿

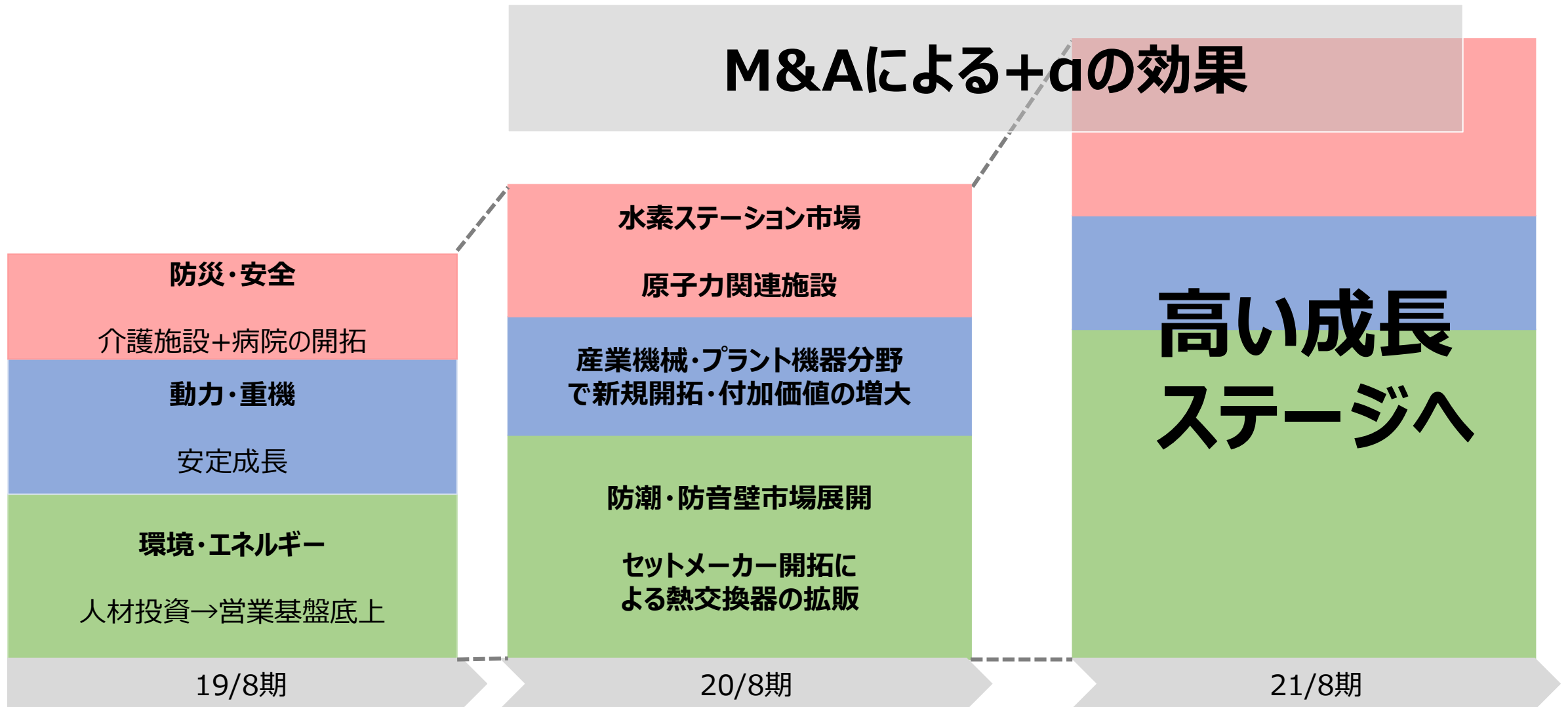
- 全上場企業のうち、※ステークホルダー満足度及び貢献度トップの企業
- 経営資源（ヒト・モノ・カネ等）の適正配分による超効率的経営
- 技術を見つけ、育て、活かす社会インフラを支えるプロフェッショナル集団としての更なる加速的成長



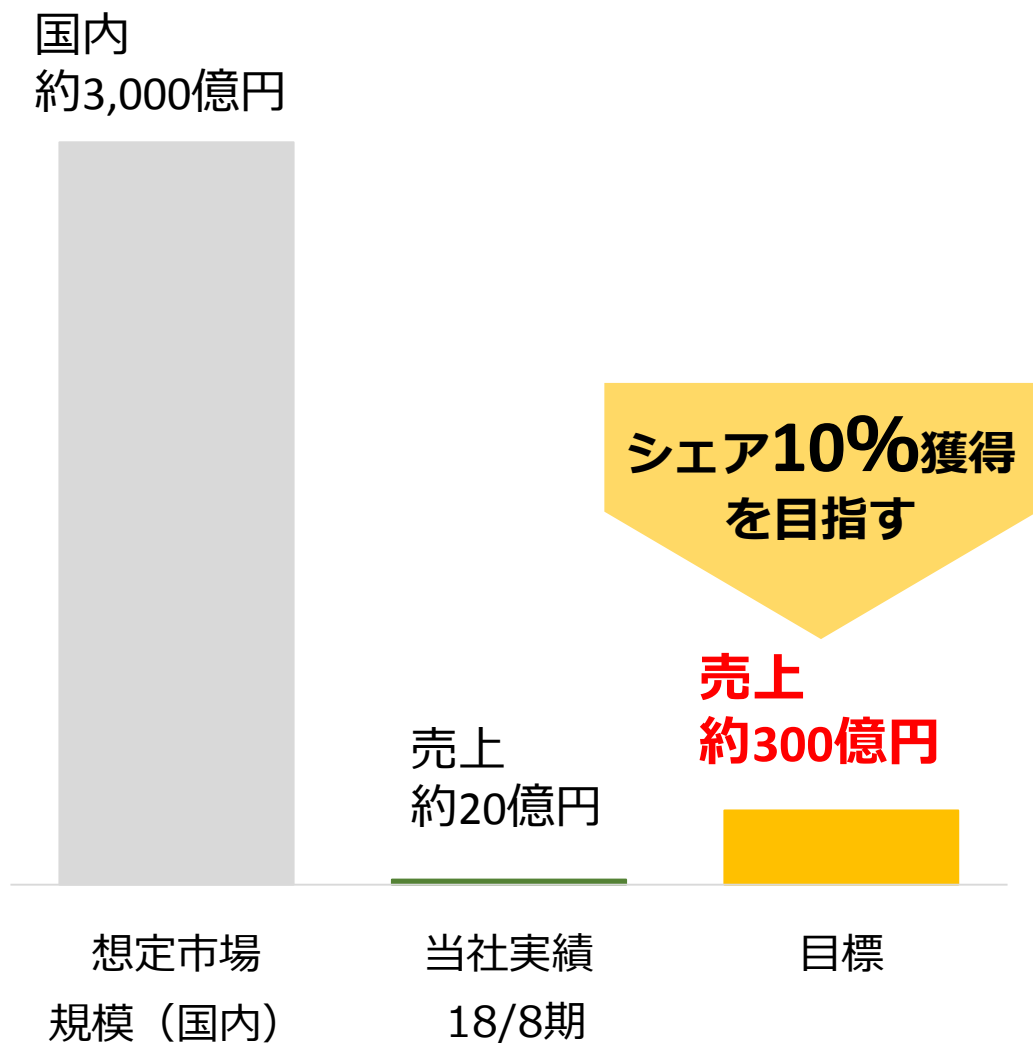
※EPS：一株当たり利益

※ステークホルダー：株主、従業員、取引先、金融機関等

収益拡大施策イメージ



収益拡大策—環境・エネルギー—事業



水処理機器

メンテナンス体制整備・受注機会拡大

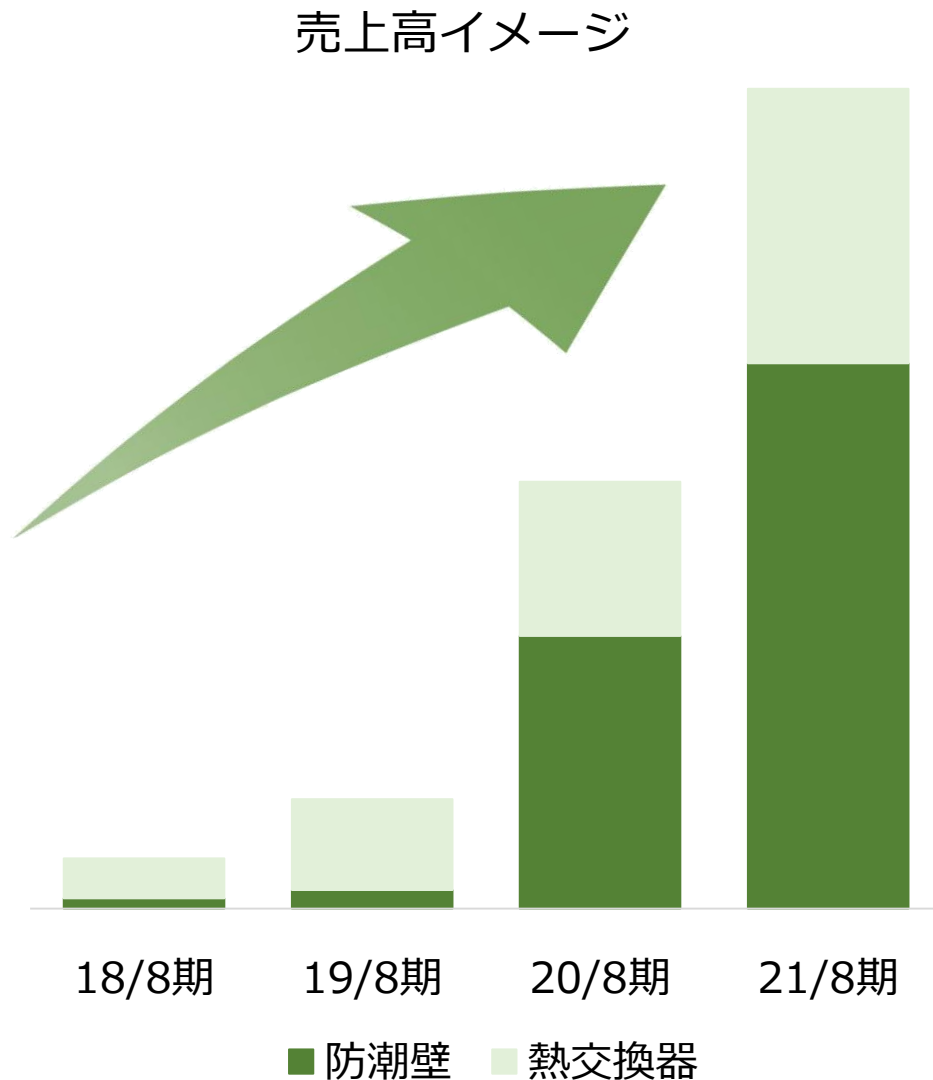
リピート受注の拡大、顧客の囲い込みを広範囲で展開

→以上の結果

新規販売、買い替え、メンテナンスなどあらゆるシーンにおいても需要を獲得できる体制を活かした安定的な収益を確保



収益拡大策－環境・エネルギー事業



防潮壁



市場浸透・新市場の開拓営業

- ・メーカー、外注先、当社の連携した一体的営業展開。
 - ・高い透明度と優れた耐候性や耐久性を活かし、防音壁市場へ参入。
- (東海地区市場規模 数千億円 ※静岡県2,000億円)

熱交換器

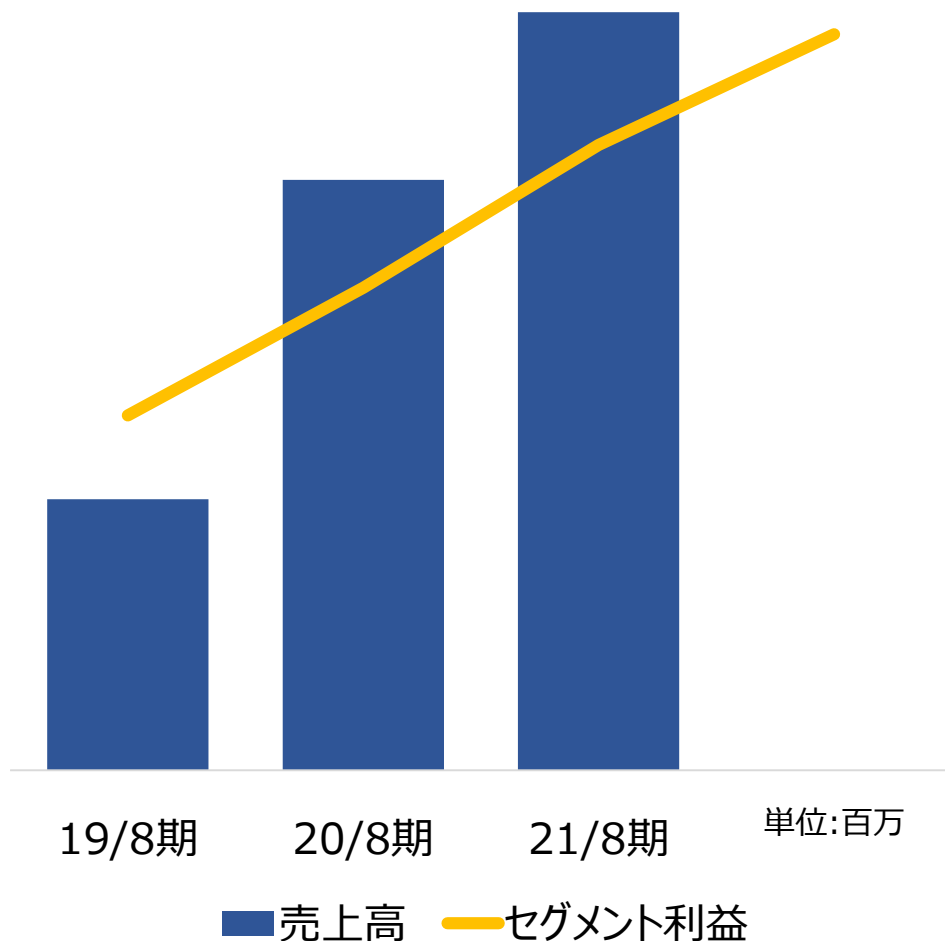
営業体制整備・市場への浸透営業

- ・冷凍設備やケミカルセットメーカーへ重点営業。
- ・優秀な人材獲得、体制強化。



利益拡大策—動力・重機等事業

売上高・セグメント利益イメージ



船舶関連・プラント機器・産業機器 受託製造事業

徹底した原価管理・低減策の実施

- ・ 原価管理体制、材料・外注発注体制を見直し、外注・購買製造コスト売上高比2%削減。
- ・ 責任体制の明確化を図り、製造ロス50%削減。
- ・ 外注先のM&Aにより、製造工程の内製化を図り、付加価値率を向上。



収益拡大策－防災・安全事業

消火装置ナイス

市場展開

介護施設・病院・流通店舗における消火装置として導入促進

消火装置

現有市場へのさらなる浸透
広範囲型2号消火栓として導入促進

原子力関連施設の消火装置として導入促進

消火装置

新市場の開拓

水素ステーションでの冷却装置として導入促進

冷却装置

燃料電池市場の拡大に伴う成長期待
新市場の開拓

M&Aも視野に防災設備会社との連携を促進

消火装置

企業間連携による販路開拓

19/8期

20/8期

21/8期

NEXT STAGE



海外進出（東南アジア他）

震災多発諸国での市場開拓

冷却・
消火・
装置

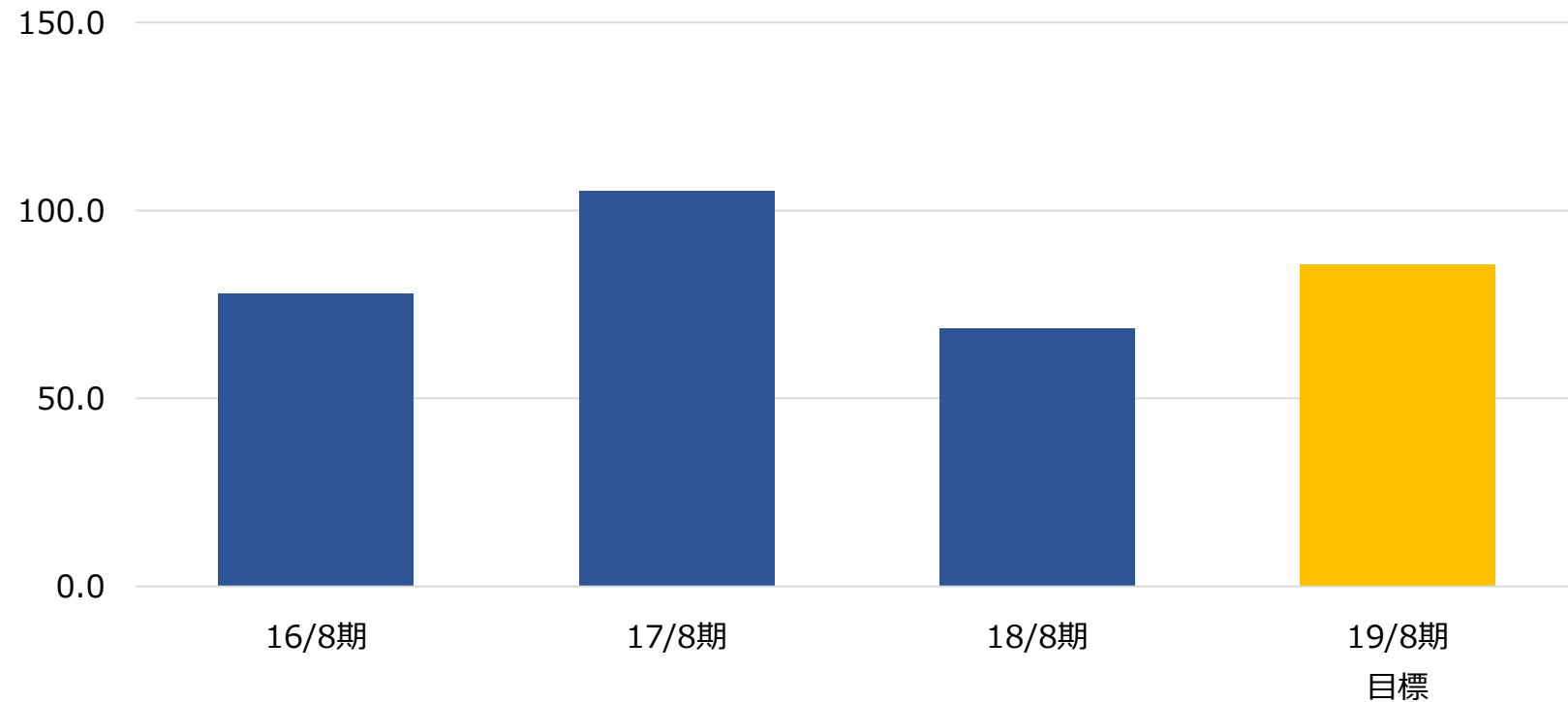
震災時の生活用水貯水機能
（長期間酸化しにくい）を
PR・活用

選択と集中による効率的な経営

EPS（一株当たり利益）の最大化

	16/8期 実績	17/8期 実績	18/8期 実績	19/8期 目標
EPS (一株当たり利益)	78.0	105.2	68.6	※85.5

※2019年4月15日現在発行株数より算出



技術を見つけ、育て、活かす

成長戦略

- M&Aで技術を「見つけ」、当社内で「育て」、企業価値へと「活かす」
- ポンプの安定収益を基盤に、収益性の高い自社商品の事業化を進めていく

効果

- 単なる利益の合計だけでなく、大きな付加価値を生み出す
- 会社・事業同士の連携や一体化により、売上増進、コスト削減を図る
- 技術力の強化

社会貢献

- 後継者不在型M&Aを推進
 - 全国的に経営者の高齢化や後継者不足が問題
 - 中長期的な事業の存続困難に直面している企業からの事業の引継を図る
- 地域経済の活性化
 - 雇用継続、既存従業員の維持
- 取引先・金融機関との関係継続

M&A投資による戦略的な飛躍を目指して

M&Aで事業規模の拡大と収益源の多様化を実現

環境・
エネルギー
事業

1989 ポンプの販売・メンテナンス事業を開始

1997 山尾産業（株）水処理部門営業権譲受

2002 オーゼットから営業権、製造権、特許権を譲り受け、オゾン脱臭装置の販売を開始

2009 オガタ工業買収
攪拌機製造技術を取得

2007 「フィンランド熱交換器」
独占製造販売権取得

2011 セイブン
販売チャンネルと人材の獲得

防災・安全
事業

1997 「ナィアス」販売開始

2009 「ナィアス」が
（一財）日本消防設備安全
センターの評定品となる

2019
(株)ミモト

動力・重機
事業

2003 溶接技術を持つ（株）三和テスコを買収

2008 精密機械加工・熱処理技術を持つ
東洋精機産業（株）を買収

※2019年5月
完全子会社化
（予定）

M&A投資による戦略的な飛躍を目指して

さらなる売上・利益成長を加速させるための未来への投資

M & A 投資額

最大総額※15億円

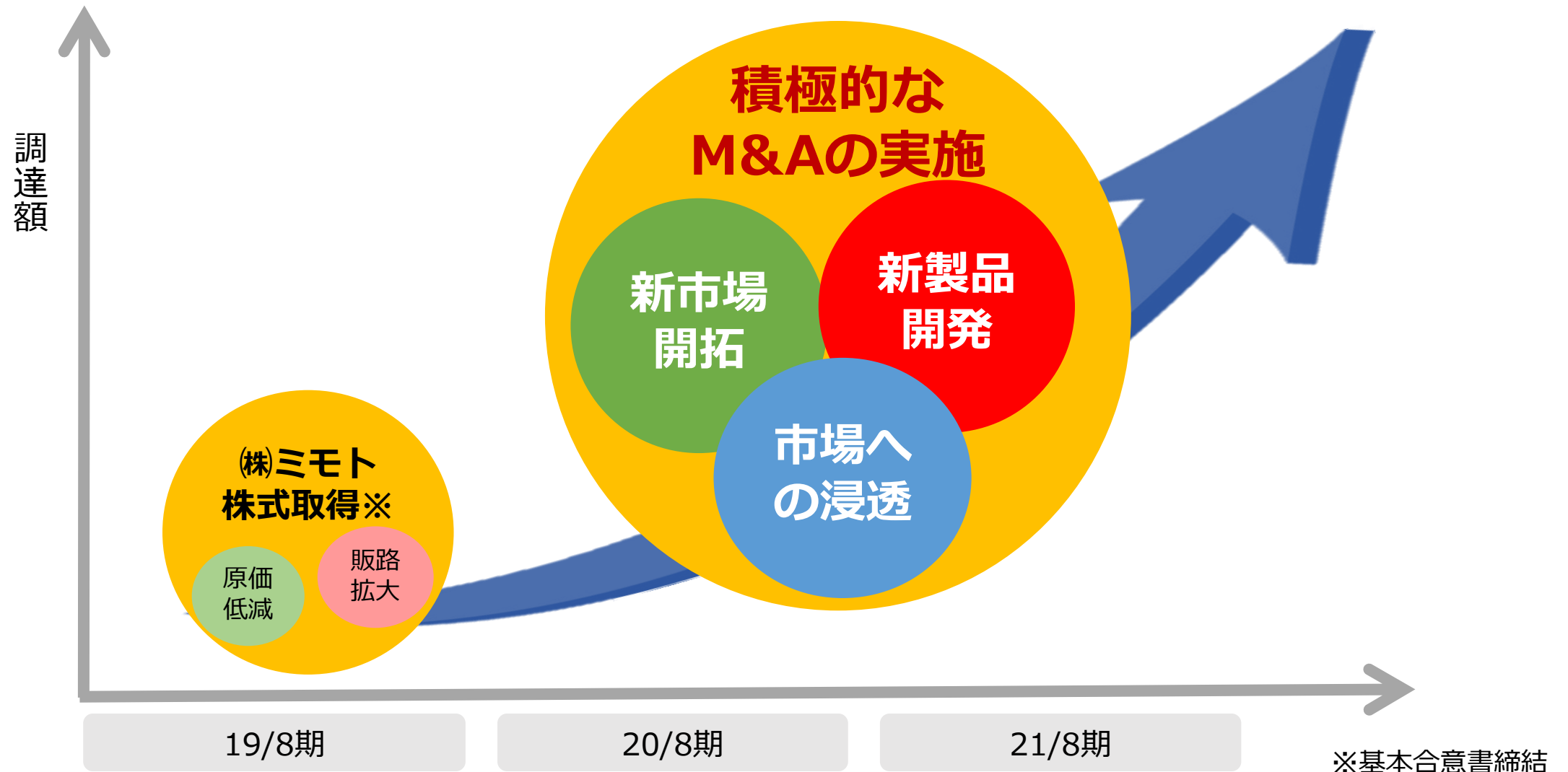
期間

2019年1月～2021年12月

※2018年12月14日開示「第三者割当による第3回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」参照

資金調達

積極的なM&Aの実施による付加価値・業績の向上



有望事業への投資

株式会社アムノス 事業内容：再生医療に関わる調査、研究開発、製造・販売および輸出入

投資目的と期待

2018年6月
米国FDA登録



韓国現地
子会社設立準備中

2019年4月15日現在

当社出資比率14.6%



再生医療周辺産業の市場規模は、
2020年には**国内市場950億円**、**世界市場1.1兆円**
2050年には**国内市場1.3兆円**、**世界市場15兆円**と、
今後大きな成長が予測される。

韓国での
市場展開



諸外国での
市場展開

2019年後半～2020年前半

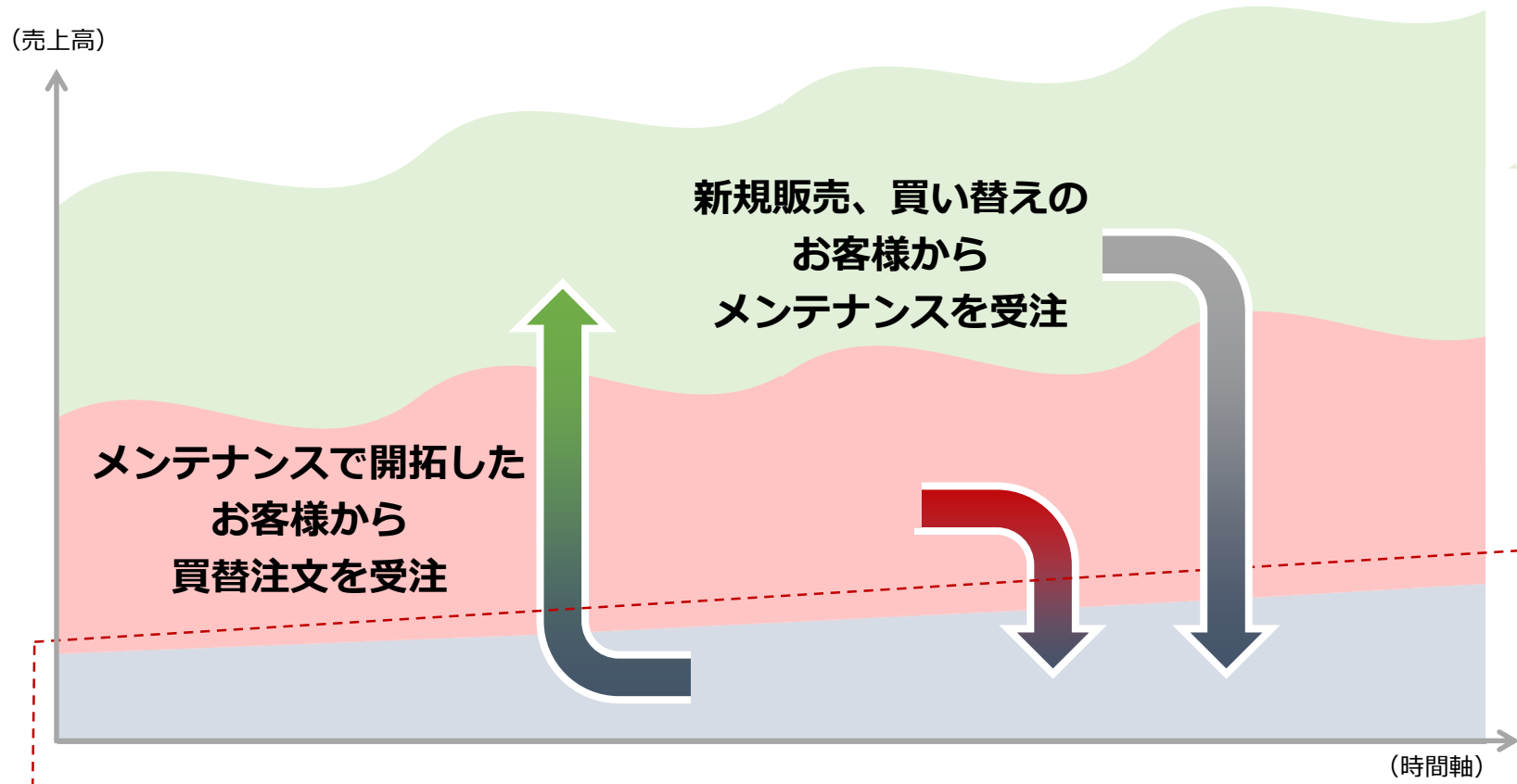
将来利益を取込み、当社企業価値増大のための継続投資

參考資料

メンテナンスで顧客を囲い込むイメージ

新規販売、買い替え、メンテナンスの相乗効果で安定的な収益を確保

ポンプ事業売上高推移のイメージ

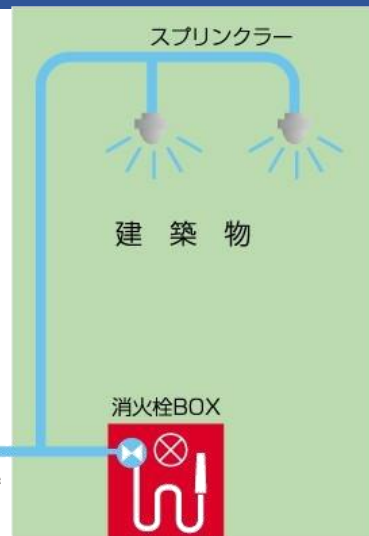


メンテナンスの売上がストックで積みあがる

■ メンテナンス ■ 買い替え ■ 新規販売

ナイアスー商品概要

NAIADの
消火設備システム



電気不要のスプリンクラー消火装置「ナイアス」 世界初の圧力水槽方式の加圧送水装置

- 2003年 ニュービジネス大賞受賞
- 2009年 (一財)日本消防安全センター認定品
- 南極・昭和基地にも10基導入**

電源・水道 工事不要

窒素ガスの圧力で放水。災害時に水道や電気がストップしても確実に作動。

20分間 放水可能

火災発生から消防車が到着するまでの間に十分な放水が可能。

水槽内の水は非常 用にも使用可能

水槽内の水は窒素ガスで封印。水が腐敗せず、震災・災害時には非常用水として使用可能。



南極・昭和基地に
導入された「ナイアス」



高温・高圧仕様にも対応する 「プレート&シェル熱交換器」

独自の構造で、高効率&コンパクトな性能を実現

- フィンランドのバーテルス社よりプレート&シェル熱交換器の国内独占製造販売権を取得
- 化学、製薬、食品などの各種プラントから、冷凍設備、船舶設備など、幅広い業界から高い評価

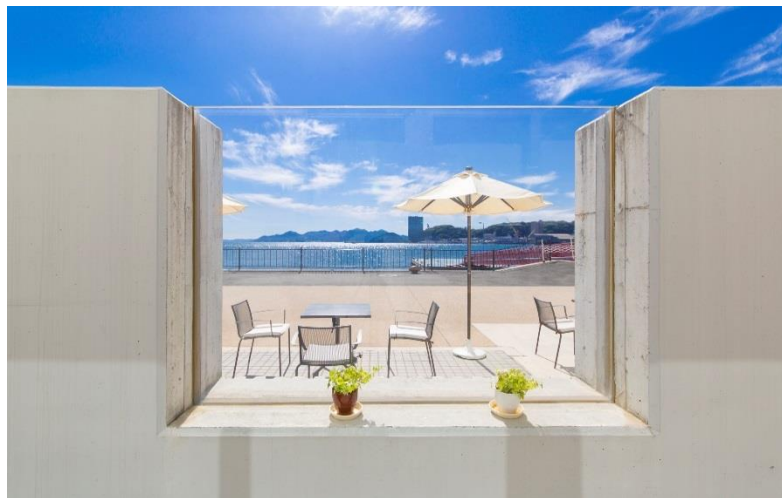
三和テスコの技術で従来製品の**1/5に小型化**

**精度の高い温度管理
が可能**

**建屋の建築費の削減
が可能**

**他社より大幅に安い
価格を実現**

防潮壁—商品概要



景観を守る、命を守る

SEAWALL®

見える防潮壁

美しさと安全の共存

防潮壁用枠付透明窓「シーウォール」

**美しい景観と
安全性の両立**

高い壁の防潮堤は
閉塞感があり、景
色が見えない。

**クリアに見える
防潮壁**

高い透明度を持つアクリル。非常時には海の様子や逃げ遅れた人の有無を伝えることが可能。

**優れた耐候性・
耐久性
衝撃に強い**

F15戦闘機のキャビンや大型水族館の水槽にも使われるアクリルの高い透明性と耐衝撃性。

**メンテナンスが
容易な構造**

汎用工具で分解できる。容易にアクリル板の交換が可能。

防潮壁—施工事例

岩手釜石市 釜石港



大分県 別府



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。